

総代会

総代会の機能について

当金庫は、「会員による自治」を基本に、会員同士の「相互信頼」と「相互繁栄」の精神を基本理念とした協同組織金融機関です。こうした協同組織金融機関である信用金庫の最高意思決定機関は総会です。ここでは、多くの信用金庫が総会に代えて採用している「総代会」についてご説明します。

総代会制度について

信用金庫の会員は出資口数に関係なく、ひとり1票の議決権を持ち、総会を通じて経営に参加することができます。しかし、当金庫においては、会員数が大変多く、総会の開催が事実上不可能なことから、総会に代えて会員の代表者からなる総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、理事・監事の選任等の重要事項を議決する最高意思決定機関であり、会員ひとりひとりの意見を適正に反映できるよう、会員の中から選任された総代により運営されております。

また、当金庫では総代会に限定することなく、日常の営業活動を通じて、総代会会員の皆さまをはじめとして、さまざまなお声を経営施策に反映させるように努めております。

総代の選任や総代会の運営方法等につきましては、基本的事項は信用金庫法に、細則は当金庫の定款に定められております。そして、こうした事項の基本は「会員の自治」であります。

総代とその選任方法

① 総代の任期・定数

- 総代の任期は3年です。
- 総代の定数は、50人以上80人以内で、会員数に応じて各選任区域ごとに定められております。なお、平成30年6月30日現在の総代数は77人で、会員数は16,007人です。
※総代選任規程により、総代の数はその選任区域ごとの定数の半数を欠くに至らない場合は、補欠総代の選任を行わないことができます。

② 総代の選任区域

- 当金庫の地区を8区の選任区域に分ち、総代の定数は会員数に応じて各選任区域ごとに定めております。

③ 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っています。そこで、総代の選考は「総代の資格基準」に基づき、次の手続きを経て選任されます。

- ① 会員の中から総代候補者選考委員を選考する。
- ② その総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③ その総代候補者を会員が信任する（異議があれば申し立てる）。

④ 総代の資格基準

- 当金庫の会員のうち①会員の意見を公正に代表できる見識を有する人格者であること。②金庫の運営に貢献しうるに足る社会的経済的活動を有する人であること。

第75期通常総代会の決議事項

第75期通常総代会（平成30年6月15日）において、次の事項が付議され、それぞれ原案通り了承されました。



報告事項 第75期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）業務報告、貸借対照表及び損益計算書の内容報告の件

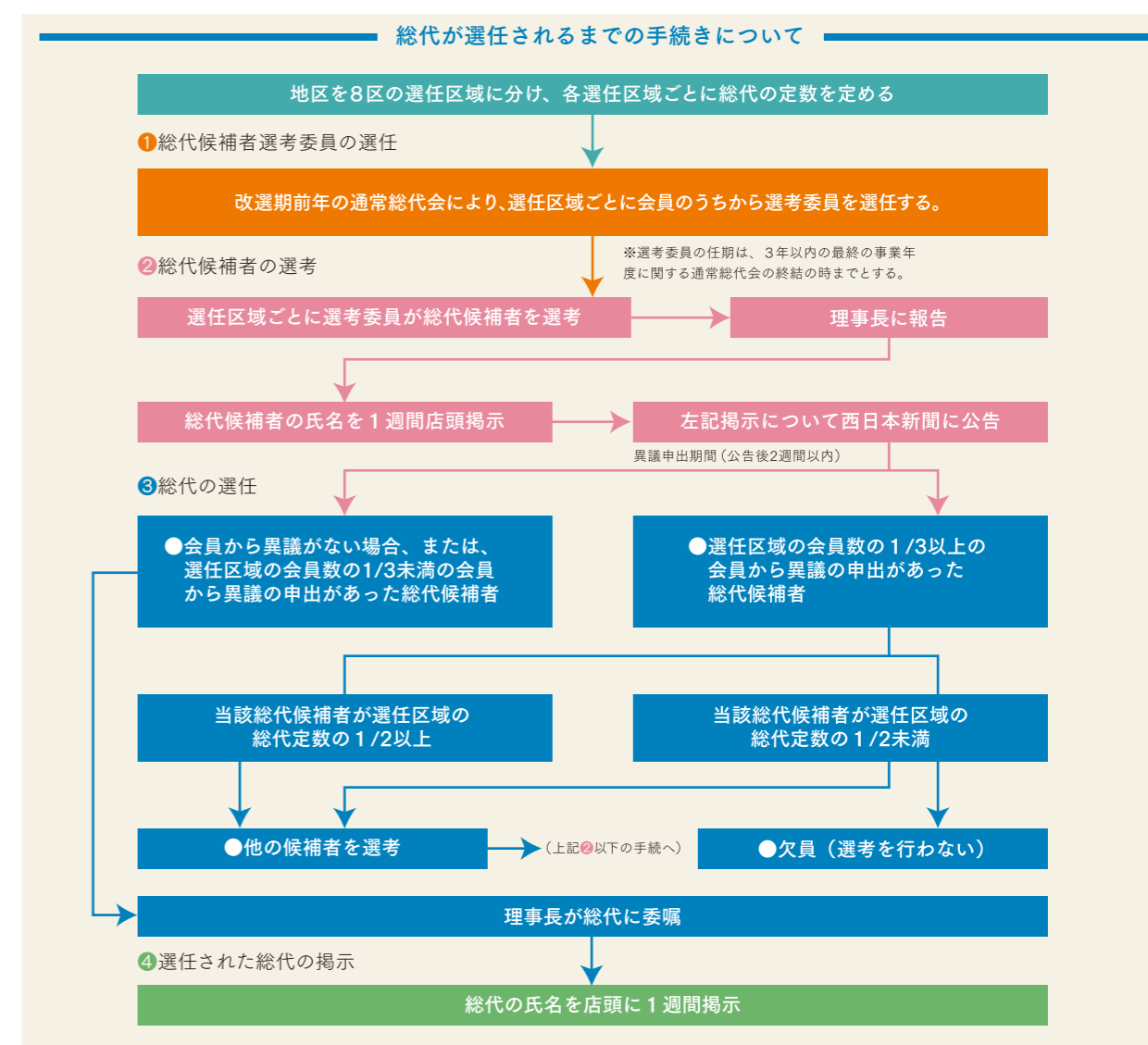
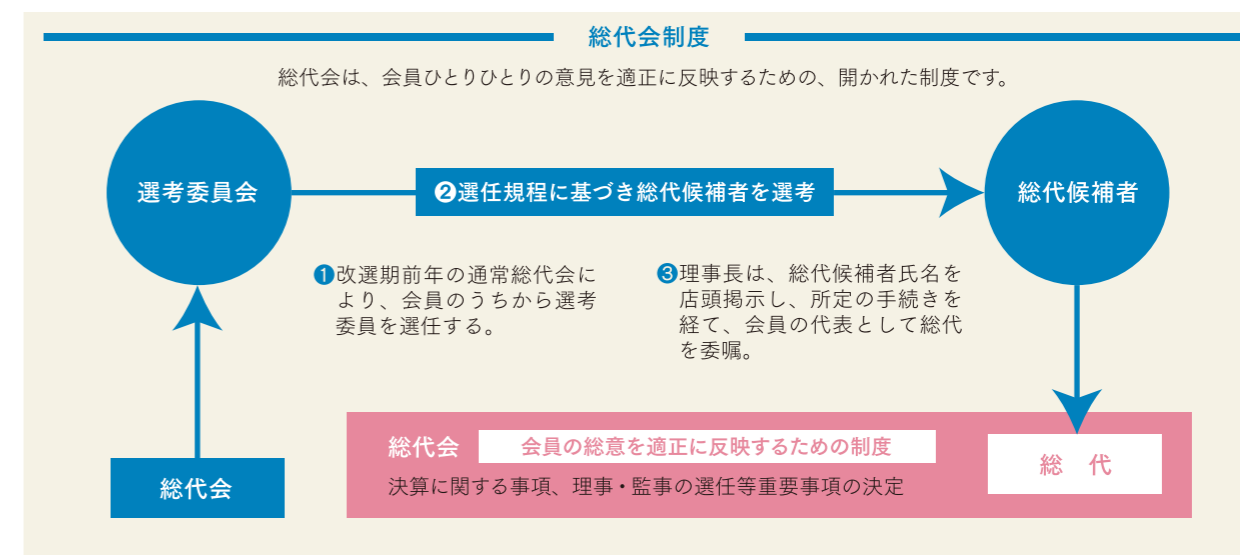
決議事項 第1号議案：第75期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）剰余金処分案承認の件

- 第2号議案：定款の一部変更の件
- ① 公告方法の追加に関する定款の一部変更の件
 - ② 総代の選任区域変更に関する定款の一部変更の件

第3号議案：総代候補者選考委員選任の件

第4号議案：理事及び監事改選の件

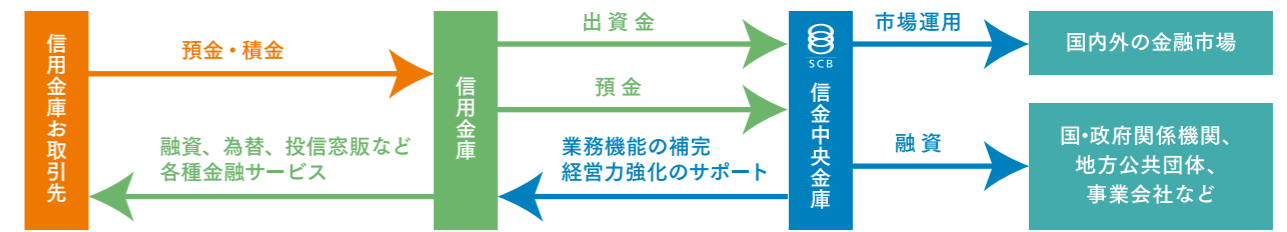
第5号議案：役員退職慰労金贈呈の件



信金中央金庫・クローバーしんきんグループ

信金中央金庫(略称:信金中金)は信用金庫のセントラルバンクです。

信金中金は、全国の信用金庫からの出資によって設立された信用金庫の中央金融機関です。
 全国津々浦々に広がる巨大なネットワークを形成する信用金庫のセントラルバンクとして、信用金庫のニーズにお応えするため、預金、融資、資金・為替の集中決済業務など、さまざまな金融サービスをご提供しています。
 また、信用金庫からお預かりした豊富な資金を元に、機関投資家として国内外の金融市場において運用しているほか、国・政府関係機関、地方公共団体、事業会社などへの融資も行っています。



【信用金庫】	【信金中金】
金庫数 261金庫	資金量 32兆円
店舗数 7,347店舗	拠点数 国内 14店舗 海外 5拠点
預金量 140兆円	役員数 1,202人 (平成30年3月末現在)
従業員数 10万人	

信金中金の役割

信用金庫の「中央金融機関」として、①「信用金庫の業務機能の補完」、②「信用金庫業界の信用力の維持・向上」という2つの役割を果たしています。

信用金庫の業務機能の補完

信用金庫が個別に行うことが困難であったり、非効率である業務を補完しています。

信用金庫業界の信用力の維持・向上

信用金庫のコンサルタント、ホームドクターとして信用金庫業界の信用力の維持・向上につとめています。

「個別金融機関」として①「総合的な金融サービスを提供する金融機関」、②「わが国有数の機関投資家」、そして、③「地域社会に貢献する金融機関」という3つの役割を果たしています。

総合的な金融サービスを提供する金融機関

金融機関の本業である預貸金業務・為替業務等を行っています。また、子会社を通じて、信託、証券、投資運用、投資・M&A仲介等の「総合的な金融サービスを提供する金融機関」としての役割を果たしています。

わが国有数の機関投資家

約37兆円にのぼる運用資産を有し、そのうち約17兆円を国債、地方債、事業債、外国証券等の有価証券で運用するなど、わが国金融証券市場において、「有数の機関投資家」として重要な役割を果たしています。

地域社会に貢献する金融機関

地方公共団体、地元企業およびPFI事業等への直接貸出を推進しています。また、信用金庫とともに、信用金庫のお取引先の経営改善・企業再生、地域活性化への支援等にも取り組んでおり「地域社会に貢献する金融機関」としての役割を果たしています。

クローバーしんきんグループの活動

『クローバーしんきんグループ』は、福岡・筑豊地区の4金庫(飯塚・遠賀・田川・福岡)を構成メンバーとして、平成22年6月1日に発足しました。
 私たちは、加盟各金庫の独自性を尊重しつつ、相互の連携を深めていくことにより、場合によっては、1金庫ではなしえない総合的な金融サービスをも提供させていただき、地域の経済、社会に貢献することを目指しています。

シンボルマーク
 豊穡の象徴である四つ葉のクローバーと幸運の象徴であるトンボと、4つの信用金庫とその連携・協力を表現。

総代名簿

(平成30年6月15日現在)

区	地区名	総代数	総代氏名(敬称略) (注) 総代氏名後の丸数字は就任回数を表示しています。			
1	本町、西町、宮町、片島	4	江藤 照之④	前田 精一④	原田 利一郎②	新藤 重任①
2	飯塚、吉原町、徳前、東徳前、西徳前	2	弓削 勝吉④	藤井 正喜①		
3	菰田東、菰田西、菰田、鶴三緒、堀池、忠隈、南尾、平恒、楽市、天道、太郎丸、椋本、久保白、高田、枝国、若菜、秋松、椿、安恒、津原、舍利蔵、弁分、小正	11	加藤 完治①	佐々木 靖彦⑥	畑中 正行⑤	村岡 康隆⑤
			三浦 修己③	國武 光秀②	林 幸治②	磯貝 芳明①
4	新飯塚、立岩、新立岩、芳雄町、柏の森、下三緒、上三緒、川島、鯉田、勢田、鹿毛馬、佐與、口原、綱分、山倉、入水、高倉、筒野、赤坂、有安、有井、庄内元吉、大門、仁保、多田	16	大塚 明人⑧	本松 茂輝⑥	池田 芳雄⑥	古賀 利広⑤
			吉田 敏明②	米岡 浩昭②	野見山 俊之②	瀧本 和徳②
			山本 純一郎①	田代 健次①	新開 純一①	坂口 高昭①
5	幸袋、中、庄司、津島、柳橋、目尾、吉北、川津、横田、伊岐須、伊川、相田、大日寺、花瀬、潤野、明星寺、八木山、蓮花寺、蓮台寺	14	野見山 俊昭⑧	佐々木 和彦④	志岐 博一④	柴田 務③
6	長尾、平塚、北古賀、阿恵、筑穂元吉、内野、桑曲、弥山、馬敷、山口、大分、内住、嘉麻市、田川市、桂川町、田川郡、行橋市、豊前市、京都郡、築上郡	11	山崎 聡④	藤井 義則④	田代 隆博④	永水 恭典③
7	宮若市、鞍手町、直方市、小竹町、中間市、宗像市、福津市、北九州市、遠賀郡	8	武田 紳治⑤	石橋 康直⑤	久場 幹夫④	水山 一路③
8	福岡市、春日市、大野城市、筑紫野市、古賀市、太宰府市、小郡市、朝倉市、糟屋郡、那珂川町、朝倉郡、糸島市、久留米市、うきは市、大川市、柳川市、筑後市、みやま市、大牟田市、八女市、大刀洗町、広川町、大木町	11	岩見 吉朗⑤	黒木 潤③	石坂 博史③	林 寛兼③
合計		77				

※総代氏名は、任期順、同任期は年齢順、同年齢は店舗順。

総代構成グラフ

